

定例教育委員会会議録

(平成29年2月8日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成29年2月8日(水)
午後 3時00分
場 所 202会議室
署名委員 太田委員、高木委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則の改正について【資料No.1】

(教育総務課ほか)

○ 報 告

1. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について【別添資料】

(各課)

○ その 他

・行事等について(各課)

・その他

【次回開催予定】 3月8日(水) 定例教育委員会 15時30分 図書館 会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、
教育委員 高木 千奈美、教育委員 藤森 一俊

事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 橋爪 哲也、教育総務課長 帯川 豊博、
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、冬季国体推進室長 小口 智行
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： こんにちは。日差しが1日1日と長くなってまいりました。春の訪れ、春の足跡が聞こえるようなそんな感じがいたします。希望の春に思いを馳せながら、みんなでまた頑張ってまいりたいと思っております。

それでは、只今より定例教育委員会を始めたいと思います。本日の署名委員は太田委員さんと高木委員さんをお願いいたします。

最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

まず、教育委員会全体の報告でございます。

1. 平成29年度の教育委員会予算概要について

平成29年度の教育委員会予算概要についてご報告させていただきます。

平成29年度の教育費は15億1千百万円で、一般会計全体の約7.7%の構成比となっております。

平成28年度予算と比較しますと、9億7千3百万円の減となっておりますが、これは岡谷西部中学校整備事業の完了によるものが主な理由となっております。

組織体制につきましては、本年1月に開催されました、冬季国体の終了に伴いまして、冬季国体推進室が廃止となります。

平成29年度の教育委員会の取り組みとしましては、岡谷市教育大綱の教育の理念であります、「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」の実現に向けて、子どもたちの確かな学びと成長の支えを実現し、豊かな感性と人間性を育みながら、学校、地域、家庭、行政の協働により、「岡谷のひとづくり」を推進してまいります。また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりを進めてまいります。

まず、「学校教育の充実」につきましては、教育大綱に掲げます確かな学力保障を推進するため、わかる授業・できる授業の実践に向けた学力向上推進事業を新たに実施し、学力向上アドバイザーによります教員への学習指導や研修会などの開催により、教員の資質向上と児童・生徒の学力向上に取り組んでまいります。

子ども総合相談センターでは、長期欠席傾向にある児童・生徒の原級復帰や自立に向けた支援を行うフレンドリー教室・中間教室を引き続き設置するほか、専任の相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどにより、保育園・学校・専門機関などと連携しながら、児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を行ってまいります。

特別支援教育推進事業では、心身の障がいや発達の遅れ、生活や学習の上での困難さを抱える児童・生徒、並びにその保護者に対して、臨床心理士などの資格を持つ専門のカウンセラーが、学校・関係機関などと連携しながら、引き続き個々の特性に応じた支援や指導を実施してまいります。

国の委託事業として実施している、活力ある学校づくり推進事業では、岡谷田中小学校、神明小学校において、市内企業と連携したものづくり体験学習や児童間交流のほか、岡谷スタンダードカリキュラムの実践などにより、統合を契機とした魅力と活力ある学校づくりを全市的に推進してまいります。

次に「青少年の健全育成」につきましては、学童クラブ室活用モデル事業を引き続き実施し、学童クラブ室の空き時間を有効活用した生涯学習と岡谷版コミュニティスクールの推進を検討してまいります。

岡谷美術考古館におきましては、特別企画展といたしまして、縄文遺物の撮影を数多く手掛けている写真家・滋澤雅人先生の作品を紹介するとともに、滋澤先生より撮影された国指定重要文化財・顔面取手付深鉢型土器の写真の展示を行うほか、岡谷市美術会などの協力により、全国規模の美術展で入賞した作品の展示を行い、岡谷市が誇る考古・美術をより多くの方に紹介し、集客力を高め、まちなか回遊へと誘導してまいります。

また、「美術考古館 いこう。こよう。大作戦事業」といたしまして、来館者の満足感をさらに高めるための取り組みを新たに実施し、リピーターの獲得につなげてまいります。

図書館では、図書館やすらぎの森事業といたしまして健康関連本や闘病記などの健康・医療に関する本の専用コーナーを設けるほか、岡谷市民病院に隣接した立地を活かして、入院患者様などに対する貸出サービスを導入してまいります。

「スポーツの振興」につきましては、岡谷市スポーツ推進計画に基づき、公益財団法人岡谷市体育協会などの

関係団体等との連携を深めながら、市民の皆様のライフスタイルや多様なニーズに応じたスポーツ活動の推進と生涯スポーツの実現に向けて支援してまいります。

また、家族で様々なスポーツを体験していただくおかやファミリースポーツプログラム事業や、おかや小学生体育塾、各種スポーツ教室を開催する、地域スポーツ活性化事業などにより、子どもから大人まで、気軽にスポーツに親しむことができる機会を提供してまいります。

このほか、おかやスケート振興事業では、ファミリースケートデーや各種スケート教室、氷上運動会を開催することにより、多くの市民の皆様にスケート文化に親しんでいただくとともに、おかやスピードスケート トータルサポートクラブでは、初心者から全国大会をめざすレベルの子どもを対象に、年間を通じたトレーニングなどを実施してまいります。

以上、2月13日から始まります、岡谷市議会定例会に上程する、平成29年度の予算概要をご報告させていただきました。

平成29年度に向けましては、これまで以上に厳しい予算編成となり、限られた予算ではありますが、職員それぞれが知恵を出し、工夫をする中で、成果を出してまいりたいと考えております。

また、今年度もまとめの時期に入っておりますが、今年度の評価を十分に行い、課題を明確にし、来年度の事業に向けた準備を進めてまいりたいと考えております。

引き続き、教育委員さんのご支援をお願いいたします。

2. 学校と家庭・地域との連携について

生涯学習課からは、「学童クラブ」と「放課後子どもの居場所づくり事業」に関連して学校と家庭・地域との連携について報告をいたします。

年度末となり両事業とも切り替え、区切りの時期となりました。居場所づくり事業では多くの地域の皆さんが企画・運営や安全管理に協力をいただき、川岸小学校が代表して文部科学大臣表彰もいただきました。

また、学童クラブも利用者が増える中、特別支援児童にきめ細やかな対応をするなど、保護者の就労支援に大きな役割を果たしてきています。

いずれも、校長先生はじめ学校との連携が深められ、地域と家庭とが一体となって事業が進められています。統合した岡谷小学校の児童も岡谷田中・神明の両校で地域の皆さんに見守られながらすぐに馴染むことができ、4月から新しい1年生を迎える準備も始まっています。

今後は、コミュニティスクールやスタンダードカリキュラムでも、益々地域住民の学校への理解や協力が必要になってきます。教育大綱に描かれた「岡谷のひとづくり」に関係者一体となって取り組んでいきたいと考えています。

3. 国体についてお礼

過日、1月27日から1月31日の5日間にわたり「第72回国民体育大会冬季国体 ながの銀嶺国体」は無事終えることができました。

少年の優勝チームは北海道が栃木県との接戦を制し、連覇を飾る結果となりましたが、この北海道の監督さんが「大会の運営も良く、おもてなしも最高だった。」と新聞にコメントが載っていました。

選手の皆様には競技に集中できる良い環境を提供することができ、また全国からお出でいただいた関係者や観戦の皆様にも良いおもてなしができ、岡谷の魅力を存分に伝えることが出来たと思います。北海道の監督さんのコメントは最高の評価をいただいたものと思っています。

平日の27日、30日、31日は、市内小学校4・5年生児童の観戦を企画し、子どもたちの応援で場内も盛り上がり、選手たちも応援の声に応えるなど、子どもたちの応援と選手たちが一体となって競技ができたように感じました。選手・競技団体からも、子どもたちの応援で力が湧いて、いい試合ができたとの声をいただいています。

その児童観戦の初日に、女児のあごにパックがあたる事故がありましたが、幸いに軽症でした。念のため岡谷市民病院で検査をしていただき、病院からは保護者と自宅に戻りました。その後は、何事もなく週明けには登校しております。事故の後、即座に観客席前にネットを張り、児童をはじめ一般の皆さんにも安心して観戦していただくことができました。

市内7小学校の4・5・6年生の子どもたちには、47都道府県の応援のぼり旗の作成をお願いし、場内に掲示することで、雰囲気盛り上げていただきました。子どもたちにとっては、初めてアイスホッケーを観戦し、楽しい貴重な体験となったことと思います。

3月に実行委員会の締めの総会がございます。教育委員さんには委員として参加をいただきますので、よろしくお願ひします。

4. 平成28年度中学校総合体育大会（冬季大会）スケート種目の結果について

平成29年1月6日（金）から7日（土）に長野市エムウェーブにおいて、第37回全国中学校スケート大会の予選をかねた、長野県中学校総合体育大会（冬季大会）が開催されました。

市内3中学校から8名が出場し、全員が全国大会へ出場（上位20位以内）することができました。

今回のメンバーは、4中学校合同部活動及びスピードスケートトータルサポートクラブに全員が参加しています。

なお、過去の全国大会出場者の実績は、平成25年度は10名、26年度は8名、27年度は11名出場であります。

また、2月4日（土）から昨日7日（火）まで、長野市エムウェーブで行われました第37回全国中学校スケート大会の速報ですが、男子は、500メートルに1名、1,000メートルに2名、1,500メートルに3名、決勝進出を果たし、倉坪克拓（西部3年）君が、500メートルで優勝、1,000メートルで2位となり輝かしい成績を収めました。女子は、3,000メートルに1名、決勝進出しています。

そのほか、スケートの国体、インターハイ等の結果は、改めまして次回報告いたします。

本当に素晴らしい結果が出て、市民の皆さんもきっと喜んでいたのかなと思います。

私からの報告は以上になりますが、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

草間職務代理者： 29年度と28年度の予算で西部中学校整備事業を除くと同じくらいの予算規模でしょうか。

事務局： 教育全体では若干減っております。庁内的に5%カットという削減目標がでておりまして、それに近づけるといことで、教育委員会も厳しい予算編成をしております。

岩本教育長： 厳しい予算の中でも、教育委員会の思いを大事に受け止めていただいて、概ね良い方向にいったのかなと思いますが、きっと委員の皆さんからは、まだここは増やしていただきたいという要望もあるかと思ひます。またそんな点も大事に受け止めていきたいと思ひます。

よろしいでしょうか。それでは本日の議事に移りたいと思ひます。

○議 題

1. 岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則の改正について（教育総務課ほか）

岩本教育長： 事務局より説明をお願いいたします。

<事務局より岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則の改正について説明。>

岩本教育長： ご質問等ありましたらお願いいたします。

太田委員： 確認ですが、別記2、学校教育（5）「児童生徒の保健、衛生、安全、厚生及び福利に関すること」の厚生及び福利を除いて「児童生徒の保健、衛生、安全に関すること」としたということですが、これはそもそもここである厚生及び福利とは何を意味して、削除しても大丈夫なものなのでしょうか。

事務局： 実は県から示された準則がございまして、そこでは、児童生徒の前に教職員となっておりますが、担当が変わって事務分掌を移したときに、その部分をそっくり残したまま改正をしたという経過がありました。そんな中で、今回の改正に合わせて用語の整備をしてまいりたいという内容でございます。

岩本教育長： 他に何かございますか。

草間職務代理者： 文化財担当を美術考古館に移すという一番の目的は何でしょうか。

事務局： 実は、文化財担当は実質的には、今の美術考古館がオープンしました平成25年11月に移っていました。将来的には指定管理者制度といいまして、今イルフ童画館がそうなのですが、館の管理を文化振興事業団等に指定管理という制度で任せるということを見据えまして、規則上は本庁に残るようにしておりましたが、館の考え方として当面の間は、直営で市の職員が美術考古館にいて「文化を核としたまちづくり」を進めて行こうという考え方になりましたので、規則上も文化財担当が美術館に腰を据えてやっていこうということで、ここで改正をしていきたいと思えます。

岩本教育長：他に何かありますか。一通り意見がでたようですので、この件につきましては、この内容で承認してよろしいでしょうか。

【承認】

岩本教育長：ありがとうございます。それでは、教育委員会としてこの内容で承認することといたします。

次に、本日の報告事項に移ります。

○報告

1. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について (各課)

岩本教育長：報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長：ご質問等ありましたらお願いいたします。

高木委員：大塚議員から通学路における冬期対策について質問がされていましたが、通学路自体は保護者の方、それから地域の方にご協力していただいて除雪が進んでいると思うんですが、学校を取り巻く道路自体は、市や県や国が管理をしていて、西部中学校を出てすぐの坂は、大変急坂なものですから、私も一度雪が降った後に行った時に、ちょうど信号のところが前面結氷しているような状態で、たまたま休日だったのでまだ、子ども達がいなくてよかったと胸をなで下ろしたんですが、通学の時間帯に万が一スリップでもしたらということを考えて、本当に怖いなと思いました。特に危険と思われるような道路の除雪はどんな風になっているのでしょうか。

事務局：全体的には、それぞれの道路管理者が一定の基準で除雪をするということになっております。県道は諏訪建設事務所、市道は市の土木課ということになってます。今、ご質問をいただいたところは、実際に確認しないといけません、おそらく学校の方で、先生方がご苦労されているのではないかなと思います。月曜日には、子ども達に危険がないような状態になっているのではないかなと思います。どうしても、道路管理者の対応というのは、業者に委託をしたり、それから指定路線であったり、色々な制約の中で実施していますので、リアルタイムに子ども達の登校に合わせて実施するというになると、なかなか難しい部分がありますので、目の前のところは、先生方にご協力いただいているのではないかなと思います。

岩本教育長：西部中学校にお願いをして、教頭先生を中心に積雪の時には塩カルをまいていただいています。ところが、塩カルをまくと溶けるけれども、その溶けた水が、次の朝になると凍って滑るということになってしまうので、砂も用意して滑らないようにするというような、きめ細やかな対応も必要かなと思っております。ただ、子ども達にも十分注意して、歩くようにということも徹底してもらわないと、とても私達の手だけで、不十分になってしまいますので、子ども達も自分の力で自分を守るということ、もう少し徹底して指導する必要があるのかなと思ってます。

藤森委員：先ほどの、議員さん達との懇談会でも西部中学校の部活の件が話題にあがってしまっていて、一般質問の中でお二人の議員さんから質問が出ていて、先ほどの席では議員さんから学校の顧問の先生が足りないから、部活が廃止になるという話の中で、たぶん部長さんの答弁を受けてのご

認識なのかなと理解したんですが、先ほどの席で、教育長先生から若干ニュアンスの違うお答えが出ていたという風に私が受け取ったものですから、私もたまたま西部中学校の保護者で、教育委員という立場もあるものですから、色々な意見が出ていたりするのも承知もしてまして、基本的に何か尋ねられた時に、議会で答弁されている内容なので、これが正しいとは思いますが、教育委員としてお答えするとすれば、部長さんが答弁されている内容を受けて、こういう内容ですよというお話をすればよろしいのでしょうか。

岩本教育長： 指導者と顧問は同じ場合と違う場合があります。中学の顧問の先生といっても全てオールマイティで自分の担当のところが出来る訳ではないので、指導者は地域の方をお願いをする。それで私があえてちょっと言ったんですが、もちろん顧問が減るとするのは、教員全体の数が減りますので、当然、担当できる顧問の先生の数も減るので、これも間違いじゃない訳です。ただし、指導者というのは学校の先生もいるし、地域の方もいるので、それがいないからといって部がなくなるという訳ではないです。それで、私は、今回の西部中の件に関しては、どちらかという指導者というよりは、子どもの数が減ったり、あるいは、子どもが希望しないため、チームが組めないという状況を想定して、ああいう形が出てきている訳で、そういう意味で申し上げました。

ただ、顧問が減っていくというのも間違いではありません。顧問も減るし、それから子どもも希望して一つのチームとしてなりたないという部分もある。そして、指導者については、逆に地域でお願いをすれば、やってもいいよという方は意外と多いのではないかなと思います。コミュニティスクールという面からも地域の方のお力を借りて部活動的な活動をやっていくということはこれから大事になっていくと思います。

事務局： 実際にアンケートを川岸小学校の5・6年生の子ども達にしている、或いは、西部中学校の1年生の入部届を出す時にその時点での部員の人数を把握したということで、子ども達自体も野球部と男子バレー部を希望する子ども達がいなかったのも含めて校長先生が判断されたということです。

岩本教育長： 他に何かありますか。それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

・その他

岩本教育長： 続いて委員の中でご報告等あればお願いいたします。

1. 学級懇談会等における保護者交流プログラムについて

草間職務代理者： 先日行われました、保護者交流プログラムについてご報告をさせていただきます。

橋爪委員： 2月6日（月）に岡谷田中小学校の来入児1日入学という機会を使わせていただいて、時間20分間持ち時間をいただいて、保護者の方達に親睦を深めていただく会を持ちました。ファシリテーターを藤森委員さんと高木委員さんに務めていただいたり、その他、受付をみんなでしたり、準備もチームワーク良く運んで、スムーズに実施することが出来ました。何よりも、保護者の方達の表情が、本当に藤森委員さんがマイクを受け取って、話し始めた瞬間から和む様子を感じ取れて、草間職務代理者さんと太田委員さんと私で後ろの方で応援するというスタンスでいさせていたんですけど、やって良かったなあということをひしひしと感じながら見させていただきました。

1番印象に残っている部分は、何人目のお子さんが学校にあがりますかという質問で、ベテランのお母さんがあの方達なんだということが分かったり、初めてお子さんが学校にあがるというお家の方達が、こういう方達が仲間なんだということが分かったり、何かあったらあの人に聞けばいいかなというようなことが、顔で相手の方が分かるところがあって、あの場面は時間的には短かったんですけど、とても大事な場面だったかなあと思って印象に残っています。もし良かったら、皆さんで感想を述べ合いたいと思いますがいかがでしょうか。

太田委員： 非常に今回、事前相談、プロセスに苦慮しまして、時間が当初から20分で、もしかしたら5分縮まるかもしれないという中で、結果的には自分達でアイデアを出し合って、寄せ集めて作ったプログラムという形なので、正直申し上げるとちょっと心配をしていたんですけども、結果的には、短時間でコンパクトにまとまっていて非常に良かったかなあとと思います。特に内容も、橋爪委員さんからもお話がありましたけど、質問を投げかけるというのは思った以上に効果があって、「同じ誕生日の方」、「何人目のお子さんですか」、「出身地どこですか」という質問で、お互いに少しですけど、この人同じなんだとか、この人こうなんだとかということが分かって、良かったかなあとと思います。

特に印象に残っているのが、山梨県出身の方が2人いらっしゃって、お互い顔を見合わせてニコっとしたり、埼玉県出身の方もいらっしゃって、この岡谷に来て初めて同郷のお母さんと会えたわというような雰囲気が出ていて、すごく良かったかなあとと思います。本当は、もうちょっとあの辺を、共通点を見つけて、そこから握手させたり、話しをさせたりということが出来ると、本当に距離がぐっと縮まっていくんだろうなと思ったので、もうちょっと時間をとって、応用をきかせられれば、一気に距離が縮まるのではないかなあとと思いますけど、如何せんなかなか時間がタイトな中でということなので、この点は何とか次につなげていければなあと感じたところでございます。

藤森委員： 今回初めてで、ファシリテーターデビューさせていただきました。本当に皆さんの力添えのおかげでなんとか持ち時間を全うできたかなという風に思っています。ありがとうございました。学校の先生方も気を使ってくださったのか、本当に事前のスケジュールどおりに保護者説明会の方も時間ぴったりに終わらせていただいて、我々の持ち時間フルに使えたということが本当にありがたかったかなという風に思っております。

すごく最初は不安だったんですけど、始めてみると参加されている保護者の皆さんのノリが良く、我々の力というよりも、勝手に保護者の皆さんが良い雰囲気を作ってくれたなあ、と、すごくやっていて感じました。20分というのは限られた時間で、個人的にはもっとバタバタするかなあとと思ったんですけど、当初予定していた3つの質問を出して、答えた方何名かにインタビューをするというのが、意外と余裕があったかなあというのを感じて持っておりますので、これを機会に色々と考えていけば、もう少し工夫によってはさらに充実したものが出来るのではないかなと感じました。

高木委員： 最初にお母さんとお父さん同士で握手をして自己紹介をするという場面があったんですが、誰と握手して挨拶すればいいのか、ちょっと戸惑っていたお母さんも、こちらで促すとそれからどんどん次の方を探して自己紹介をされている姿があったり、お父さんは1人だったんですが、そのお父さんのところにご自分から行って自己紹介をして、挨拶をしてくださるお母さんもいらしたりして、とても和やかな雰囲気が作れたと思います。1人だったお父さんにとっては、もう少し何人かお父さんがいればいいなあと思っていらっしゃったかもしれませんが、お母さんだけではなくて、お父さんもいてくださったというのが、とても雰囲気が良かったなあと思いました。

草間職務代理者： きっと初めての学校で保護者の方も緊張をして学校に見えたと思うんですけども、ファシリテーターの2人が前に立たれた瞬間から非常にほっとしたような表情で、後ろを向いたり、横を向いたりして保護者同士で顔を覚えることが出来たので、入学式当日も忘れないでお話しが出来るような雰囲気だったと思います。ありがとうございました。

橋爪委員： 藤森委員さんにも少し触れさせていただいたんですけど、岡谷田中小学校の先生方のご理解があって成り立った部分大きいなあと感じています。校長先生も本来であればもう少し長くお話をされる予定だったと思うんですけど、その部分をこちらでも大事だからということで、縮めてくださったり、それから来入見受入れの係りの先生も時間を厳守してくださったり、こちらの準備にもすごく協力的だったりして、岡谷田中小学校の先生方のご理解の上、成り立っているということも併せてご報告したいと思います。

岡谷田中小学校の関係でいいますと、コミュニティスクールの運営委員会に来て、この取り組みの説明をして欲しいということで、通知をいただきまして、22日(水)ですけども、草間職務代理者さんと一緒に伺って、話しをしてくる予定になっています。

それから、他にも少しずつ動きがありまして、更生保護女性会の会長さんからもご連絡をいただき、役員会にて先日、この取り組みへの協力をしていきたいと思いますというご了承を得られたということで、サポートというスタンスなんですけども、協力して下さるというお話をいただき、近々打合せをお願いしますということで、ご連絡をいただいたので、日程の調整に入っているところです。もちろん教育委員全員で臨みたいと思いますが、できれば、事務局からも子ども課と懇談をした時みたいに、帯川課長さんと小坂課長さんにも同席していただけるとありがたいなあと思っております。後ほど日程のお話をさせていただきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

他の動きですけれども、カルチャーセンターで三澤先生がご担当されている地域子(己)育てサポーターの会なんですけども、こちらもお話しが進んでおりまして、昨日の役員会でこんな取り組みがあるという風なことを紹介していただきまして、幸い現在の地域子(己)育てサポーターの方達の何名かの方は、実際に見学をしてくださったり、手を貸してくださったりというような経緯もありますので、関わってくださった方から直接、会の皆さんへ紹介していただけるというような展開になっております。なお、4月になりましたら、総会で教育委員の方から説明をして欲しいというお話しもいただいておりますので、この場でご報告させていただきます。

PTAの方も10日(金)に伺って、まず、役員の方にお話をさせていただき、3月3日(金)総会でご紹介させていただくという予定になっております。

2. スタンダードカリキュラムについて

橋爪委員： 前回の教育委員会でご紹介があり、関心があったので、先日、神明小学校の小林先生がなさるゴミの分別に関する授業を見学させていただいたんですけど、子ども達が自分達の家にある分別表を使ってやっているの、「あっそれ今朝見た」とか「家は何曜日なんだよ」とかを言いながら、すごく自分のこととして結びつけて学んでいる姿があって、先生側の工夫もすごくされていて、「先生の家のごみはどんな風に出したらいいだろう」と言って、各種分別用にゴミを持ってきて、子どもとやり取りをしていて、本当に子ども達は興味津々で学んでいる姿を見て、おそらく授業の後、子ども達はもう一度お家に行って確認したくなっている様子があって、こんな風にして学んでいくって、本当に素晴らしいことだなあと見させていただきました。『岡谷のひとづくり』はこういう風に進めていくんだなあと思感を受けましたので、ご報告をさせていただきます。

岩本教育長： またこれからも、岡谷田中小学校と神明小学校を中心にモデル的な授業が何回か行われますので、是非また、時間を作ってくださいとご覧いただければと思います。
それでは事務局より次回の開催予定についてお祈りいたします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは、長時間になりましたが、以上をもちまして、2月の定例教育委員会を終了とします。

終了16時25分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成29年3月8日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

太田博久

署 名 委 員

高木千奈美

調 製 職 員

吉澤洋人